

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性					
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み	
								現状 (病院回答から転記(抜粋))	今後の見込み、予定 (病院回答から転記(抜粋))
1	岐阜県立多治見病院	公立	がん	○				・診療実績あり(肺・呼吸器、乳腺、消化器、泌尿器/生殖器、放射線療法)。	・今後も実施。
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				・診療実績あり(急性心筋梗塞に対する心臓カテーテル手術、外科手術が必要な疾患)。	・今後も実施。
			脳卒中	○				・診療実績あり(超急性期脳卒中加算、脳動脈瘤クリッピング術等、開頭血腫除去術等、血栓除去術等の脳血管内手術)。	・今後も実施。
			救急医療	○				・東濃圏域において、3次救急の役割を担う。	・今後も実施。
			小児医療	○				・NICUを設置。 ・小児救急全例受け入れ。	・今後も実施。
			周産期医療	○				・通常分娩、ハイリスク分娩ともに24時間体制で対応。	・今後も実施。
2	総合病院中津川市民病院	公立	がん	○				・当院にて対応 ・肺・呼吸器は県立多治見病院、大学病院などと連携。	・今後も実施。 ・肺・呼吸器は呼吸器内科の常勤体制を強化する。
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				・心臓カテーテル手術は当院にて対応。 ・外科手術が必要な心疾患は対応不可であるため、名古屋徳洲会病院などと連携。	・今後も同様の対応。
			脳卒中					当院にて対応	・今後も実施。
			救急医療					当院にて対応	・今後も実施。
			小児医療					当院にて対応	・今後も実施。
			周産期医療	○				・当院にて対応。年間200件程度の分娩実績あり。 ・ハイリスク分娩への対応は県立多治見病院、大学病院などと連携。	・今後も同様の対応を継続。

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性						
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み		
								現状 (病院回答から転記(抜粋))	今後の見込み、予定 (病院回答から転記(抜粋))	
3	土岐市立総合病院	公立	がん	○	○		統合に向け専門医の招聘を関連大学に働きかける	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤医により診療実績あり。(乳腺・消化器) ・常勤医が不在であるため東濃厚生病院及び県立多治見病院へ紹介。 ・放射線療法は、実施していないため県立多治見病院へ紹介。 	<p>東濃厚生病院との1病院化が具体化していく状況を踏まえ、それまでの間は、両病院間で体制が充実している診療科における相互協力を行い、地域医療を堅持していく。 小児・周産期等については、両病院が協力し関連大学等に専門医の招聘を働きかける。</p>	
			心筋梗塞等の心血管疾患	○	○		統合に向け専門医の招聘を関連大学に働きかける	<ul style="list-style-type: none"> ・専門医が不在のため、心臓カテーテル手術、外科的手術が必要な心疾患は、東濃厚生病院の循環器内科専門医に依頼し対応している。 		
			脳卒中	○	○		専門医にて対応している	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中センターとして24時間365日専門医により自院で対応している。 		
			救急医療	○	○		統合までの間東濃厚生病院との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・土岐市・瑞浪市の二次救急の役割を担っているが休日・時間外は東濃厚生病院との病院群輪番制にて対応している。 ・整形外科は常勤医1名にて、可能な限り受け入れている。 ・小児医療・周産期医療以外は可能な限り受け入れているが、非常勤医による対応が多いため東濃厚生病院と連携し対応している。 		
			小児医療	○			県立多治見病院との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・対応可能な患者は受け入れているが、新生児などは県立多治見病院と連携し対応。 		
			周産期医療	○			県立多治見病院との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期については県立多治見病院へ依頼。 ・市内には分娩施設がない。 		
4	多治見市民病院	公立	がん	○				<ul style="list-style-type: none"> ・診療実績あり(消化器・呼吸器・乳腺) ・放射線療法は同系列病院、近隣病院へ紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も同系列病院、近隣病院と連携する。 	
			心筋梗塞等の心血管疾患	○					<ul style="list-style-type: none"> ・昼間の時間帯以外は近隣病院へ搬送依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も同様の対応予定
			脳卒中	○					<ul style="list-style-type: none"> ・対応不可のため、近隣病院に搬送依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も同様の対応予定
			救急医療	○					<ul style="list-style-type: none"> ・二次救急受け入れの役割を担っている(月間約160件救急搬送受け入れ)。三次救急の受け入れは近隣病院へ依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の救急対応、二次救急を担当し、高度急性期医療の近隣病院とすみ分けを行う。 ・年間2,000件以上の救急搬送を受ける。
			小児医療	○					<ul style="list-style-type: none"> ・外来(9:00~17:00)については365日対応 ・夜間救急は近隣病院に紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も同様の対応予定
			周産期医療	○					<ul style="list-style-type: none"> ・実績なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、通常分娩のみを扱う産科を開設予定。ハイリスク分娩への対応は近隣病院に依頼。

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性						
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み		
								現状 （病院回答から転記（抜粋））	今後の見込み、予定 （病院回答から転記（抜粋））	
5	市立恵那病院	公立	がん	○				<ul style="list-style-type: none"> ・手術実績あり（消化器・乳腺） ・県立多治見病院、愛知がんセンター、名古屋大学附属病院、愛知医科大学病院（産婦人科）および中津川市民病院（泌尿器科）へ紹介。 ・術前・術後化学療法、緩和・在宅医療の対応は可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も同様の対応予定。 ・地域連携パスの更なる充実を図る。 	
			心筋梗塞等の 心血管疾患	○				<ul style="list-style-type: none"> ・救急対応は不可であるため、名古屋徳洲会病院、県立多治見等へ搬送依頼。 ・なお、慢性期の対応は可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も同様の対応予定。 ・近隣の中津川市民病院と今後も連携について協議を実施する。 	
			脳卒中	○				<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の医療機関（中津川市民病院・土岐市立総合病院等）と連携。 ・なお、回復期の対応は可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の医療機関と連携し、回復期リハビリテーション・病棟機能を充実し、急性期後の患者を受け入れる。 ・近隣の中津川市民病院と今後も連携について協議を実施する。 	
			救急医療				○	<ul style="list-style-type: none"> ・当院は恵那市での二次救急の役割を担っている。また、隣接する中津川市の病院と輪番制で救急対応し、三次救急は県立多治見病院へ紹介。 ・病院敷地内のヘリポートを活用している。 ・救急患者（救急車）を積極的に受け入れている。 ・恵那・中津川消防救急隊との連携を密にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も同様の対応予定。 	
			小児医療	○				<ul style="list-style-type: none"> ・一般外来・入院診療（市内唯一の小児科入院可能医療機関）、新生児一般診療は可能。（集中治療を要する症例は県立多治見病院等へ紹介） 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も同様の対応予定。 	
			周産期医療					○	<ul style="list-style-type: none"> ・当院は市内における唯一の分娩取扱施設であり、年300件弱の分娩実績あり。 ・ハイリスク分娩への対応は県立多治見病院等へ依頼。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も通常分娩への対応を継続する予定。ハイリスク分娩への対応は引き続き、県立多治見病院等と連携する。

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性					当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み	
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	現状 (病院回答から転記(抜粋))		
								今後の見込み、予定 (病院回答から転記(抜粋))		
6	東濃厚生病院	公的	がん	○	○		外科的手術について、専門医の招聘を関連大学に働きかける。	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器は、内科・外科専門医により自院にて対応。 ・呼吸器は、内科専門医による治療を実施、外科的手術は他院との連携にて対応。 ・乳腺、泌尿器は、非常勤医のため、外科的手術は他院との連携にて対応。 ・放射線治療は、実施していないため、他院との連携にて対応。 	土岐市立総合病院との1病院化が具体化していく状況を踏まえ、それまでの間は、両病院間で体制が充実している診療科における相互協力を行い、地域医療を堅持していく。 小児・周産期等については、両病院が協力し関連大学等に専門医の招聘を働きかける。	
			心筋梗塞等の心血管疾患	○	○		外科的手術について、専門医の招聘を関連大学に働きかける。	<ul style="list-style-type: none"> ・循環器内科専門医により緊急検査を含め自院にて対応。 ・外科的手術は、他院との連携にて対応。 		
			脳卒中	○	○		現状を維持し統合時に更なる充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・土岐市立総合病院の脳神経外科との連携にて対応。 		
			救急医療	○	○		統合までに、小児・周産期については、ある程度対応できる体制づくりを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・二次救急の役割を担っており、小児・周産期以外は全て受け入れる方針にて対応。三次救急の場合は県立多治見病院へ依頼。 		
			小児医療	○				<ul style="list-style-type: none"> ・小児科は非常勤医のため、県立多治見病院との連携にて対応。 		
			周産期医療	○			3次救急に相当するため、県立多治見病院との連携を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科は常勤医が1名のため、県立多治見病院との連携にて対応。 		